

古河市立古河第二中学校部活動運営方針

国が策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」並びに「茨城県運動部活動の運営方針」（以下、「県運営方針」と表記）に則り、生徒の運動・食事・休養及び睡眠のバランスのとれた生活や成長及び教職員の負担軽減に配慮し、部活動の運営方針を以下に定める。

1 適切な部活動運営のための体制整備

- 校長は、「県運営方針」並びに「古河市部活動の運営方針」に則り、毎年度、「学校の部活動に係る活動方針」を策定する。
- 部活動顧問は、年間の活動計画（平日及び休日における活動日、休養日及び参加を予定する大会等）、並びに毎月の活動計画及び活動実績（活動日時・場所、休養日及び大会参加日等）を作成し、校長に提出する。
- 校長は、「学校の部活動に係る活動方針」及びそれぞれの部活動の「活動計画」を生徒及び保護者へ通知する。
- 校長は、定期的に「部活動顧問会議等」を開催する。
- 校長は、すべての部活動の活動計画が閲覧できるように校内に掲示する。

2 合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進のための取組

- 校長は、短時間で合理的かつ効率的・効果的な活動をするよう指導し、生徒の生活や健康に留意するとともに、教職員の負担軽減にも配慮する。
- 校長及び部活動顧問は、部活動の実施に当たっては、生徒の心身の健康管理（スポーツ障害・外傷の予防やバランスのとれた学校生活への配慮等を含む）、事故防止（活動場所における施設・設備の点検や活動における安全対策等）及び体罰・ハラスメントの根絶を徹底する。
- 部活動顧問は、部活動経営の基本として「PDCAサイクル」を着実に実施し、より良い運営を目指した工夫・改善に努める。
- 校長は、生徒の生活や健康に留意するとともに、熱中症事故の防止等の安全確保を徹底するため、「熱中症予防運動方針」（公益財団法人日本スポーツ協会）等を参考に、部活動の実施について適切に判断する。また、気象庁の高温注意情報及び環境省熱中症予防情報サイト上の暑さ指数等の情報に十分留意し、気温・湿度などの環境条件に配慮した活動を

実施する。その際、屋内外に関わらず、活動の中止や延期、見直し等柔軟な対応を検討する。特に、暑さ指数（WBGT）が31℃以上の場合は、活動を原則として行わない。

- 高温や多湿時において、練習試合や練習については、中止等柔軟な対応を行う。また、やむを得ない事情により実施する場合には、参加生徒の体調の確認（睡眠や朝食の摂取状況）、こまめな水分・塩分の補給や休憩の取得等、生徒の健康管理を徹底する。万が一、熱中症の疑いのある症状が見られた場合には、早期の水分・塩分の補給や体温の冷却、病院への搬送等、迅速かつ適切な対応を徹底する。

3 適切な休養日等の設定

- 1日の活動時間は、平日は2時間程度、休業日（学期中の週末を含む）は3時間程度とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。
- 校長及び部活動顧問は、休養日を週当たり2日以上設ける。（平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日はいずれか1日以上を休養日とする。また、週末に大会参加等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。）
- 長期休業中における休養日の設定は、学期中に準じた扱いを行う。
- 心身の疲労が解消できる十分な休養をとるための時間の確保や、学校生活に支障を来すことがないように、原則として朝の活動は行わず、放課後の限られた時間で活動する。
- 学校閉庁日（学校に日直を置かず、学校として対外的業務を行わない日）は、原則、活動は行わない。

※学校閉庁日は以下のとおり

| | |
|------------------|--------------|
| 8月13日～16日（お盆の期間） | 11月13日（県民の日） |
| 12月27日・28日 | |

※大会等の参加が予定され、特別に実施する場合は、校長の許可並びに保護者の承諾を必要とする。

- 定期テストの直前3日間は、原則として休部とする。

4 学校単位で参加する大会等の見直し

- 校長は、生徒や部活動顧問の負担が過度とならないことを考慮して、参加する大会等を精査する。
- 参加する大会は、1月当たり1大会程度、年間12大会程度を目安とする。